

目的 通気性の簡易測定法のひとつであるビニール袋法は、JISで定められているフラジール形通気度試験機の測定結果との間に高い相関があることを報告した。¹⁾本報では、従来のビニール袋法の改良を試みるとともに、現行の教科書に記載されている通気性簡易測定法の検討と、より観察的で定量化できる実験方法の提案を行う。

方法 実験試料は、児童・生徒が日常生活において着用される頻度の高い代表的綿布12種とし、1種の試料につき10回の測定を行った。試料の通気度は、予めフラジール形通気度試験機で測定し、本研究で提案する実験方法との相関を調べ、有用性を検討した。

結果 従来のビニール法を応用し、教科書法を改良した実験法(図1)とフラジール形試験機の測定値には高い相関があり(図2)、より観察的で定量化できる実験方法としての有用性が認められた。

1) 日下部ほか：家庭科教育，家政教育社，vol.58, No.2, p.60, (1984)

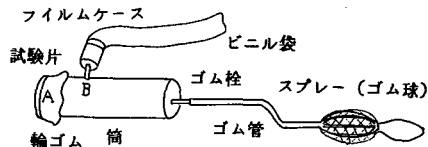


図1 通気性簡易測定法

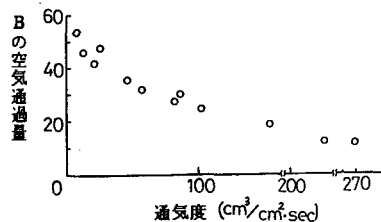


図2 フラジール形試験機による通気度と簡易測定法による測定値との関係